

農地・水・環境保全向上対策活動組織の活動瓦版

各地区で生きもの調査を実施しました。

7月25日(日)に笹原地域環境保全会(会長 大越一雄氏)と石橋南部環境保全会(会長 布施俊男氏)は、田んぼまわりの生きもの調査を、育成会や自治会の協力を得て各地区で開催しました。



笹原地域環境保全会



石橋南部環境保全会

この調査は、生きものの生息状況を把握して話し合いをすることにより、地域での環境保全の関心を高め、子供から高齢者まで多くの方が参加するなど、まとまりある地域づくりに役立っています。また、各活動組織からの報告に基づき結果が取りまとめられ、県下の水中動物や植物、昆虫の生息分布状況や絶滅危惧種の有無などが明らかになってきています。

水路の除草を行いました。

6月20日(日)仁良川の里保全会(会長 黒川英代氏)では、多くの地域住民が参加し、江川用水法面の除草を行いました。

活動区域の中央を流れる江川は片側2キロメートルもあり、保全会ではこの両側をきれいにし、アジサイでいっぱいにと計画しています。



当日は、住民が草刈機や鎌を持ち寄り、昨年植えたアジサイの周りや法面の草刈に汗を流しました。

平成20年度に植えたアジサイは今年から花を咲かせましたので、来年の6月頃はアジサイの花が見ごろになると思います。来年はぜひご覧ください。

地産地消だより

下野市地産地消推進協議会

◇猫の手援農隊がやってきた!

下野市のかんぴょう収穫作業をお手伝い

かんぴょうの収穫作業を手伝う援農隊が7月31日(土)から8月1日(日)までの1泊2日で開催されました。

猫の手援農隊は、社団法人全国農協観光が主催する収穫体験で、東京都や埼玉県などから集まった12名の参加者は、下野市のかんぴょう生産農家2軒と上三川町の農家1軒でかんぴょうの収穫作業をお手伝いしました。

作業が終了したあと、JAうつのみや女性組織みどり会南河内支部(高山洋子支部長)によるかんぴょうを中心とした12品目の手料理を食べながら、参加者と生産者との交流を深めました。



◇募集しています。

下野市の元気な農産物の情報
匠の技の情報・・・地産地消は食べ物だけではありません。
なんでも情報・・・食と農の情報
事務局:農政課

〒329-0493下野市田中681-1
FAX48-1424 ☎48-2143